

福島学院大学 令和 8 年度 入学者選抜
学力検査における出題意図

■マネジメント学部■

【学校推薦型選抜・指定校推薦型選抜】

○国語基礎問題（100 点）

問題Ⅰは、漢字や慣用句等の国語常識について問い、高校卒業程度の基礎的な語彙力や言葉の意味の知識定着を測る設問とした。問題Ⅱは読解問題で、現代社会をめぐるさまざまな問題について問題意識を持った上で、評論文に述べられている内容を正確かつ論理的に理解できているかどうかを問うものとなっている。文章中に用いられた表現の説明や筆者の考え方の読み取り、文脈の理解による空欄補充、傍線部内容の具体的説明、文章全体の要旨を理解する問題を出題している。やや長めの文章であっても、最後まで読み通す力を持っているかどうかを試しており、基礎的な読解力を測ることを目的としている。

【一般選抜 A 日程】

○国語（100 点）「現代の国語」「言語文化」（古典を除く）

問題Ⅰは、荻谷剛彦「知的複眼思考法」から、問題Ⅱは近内悠太「利他・ケア・傷の倫理学「私」を生き直すための哲学」からの出題である。

両問題とも、漢字の読み書き、慣用句、四字熟語の基礎的問題を通して、大学での学びに耐えうる言語力・思考力を測ること、論文形式の現代文を用いることで、文章の読解力や構造的な理解力、情報の比較・整理、抽象的思考力など、大学で思考し、表現し、議論するための基礎能力を確認する。

○英語（100 点）「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」（リスニングを除く）

問題Ⅰについて、基本的な単語・イディオムの知識、文法の知識を問うている。問題Ⅱについて、穴埋め式の英作文問題である。イディオムの知識、基本的な文型についての知識を問うている。問題Ⅲについて、会話文の問題。話の流れの概略を把握・理解し、よりの確な会話文を選択していく。基本的な文型を理解しており、それに基づく読解力を確認する。問題Ⅳについて、長文問題である。長文から情報を読み取り、それを要約。把握し、理解することのできる読解力を確認している。

○世界史（100 点）「歴史総合」「世界史探究」

本科目では、本学部のアドミSSIONポリシーに則り、ヨーロッパ、中国、アメリカについて、基本的な知識を問う。それとともに、地理的条件や歴史的背景を踏まえながら、各時代における事柄の意味を理解し、相互に関連付ける思考力と考察力、文化、政治、行政等に広がりを持つ課題探求力を確認する。

○日本史（100点）「歴史総合」「日本史探究」

全体像

本科目では、本学部がアドミッションポリシーに掲げる人材像の育成を図るため、経営学、経済学、政策学にわたる多様かつ幅広い知識と専門性を備えた学究を通じて、柔軟な発想と主体的な行動力を養い、他者との協働を通じて、持続可能な地域社会の創生と活性化に貢献しようとする意思と意欲を育む観点から、高校段階における「歴史総合」および「日本史探究」科目の範囲内で、入学者に必要とされる総合的かつ基礎的な知識・技能、そして思考力・判断力・表現力を多面的に評価する問題構成とした。

<問題>

第Ⅰ問（総合問題・国境を越える人々の移動）

古代から近現代にいたる広い年代を話題とする会話文を示し、会話文中の空欄に最も適した語句を当てはめる設問、会話文中の下線部に関わる知識と思考、および、それらの組合せによる設問を通じて、次の2つの基礎的な能力を問うものとした。第1に、歴史を俯瞰し、各時代における歴史事象の意味と各時代の特色を、現代との対照を意識しつつ考察することができるかを備えているかどうか、第2に、入学後の学修の基礎となる課題の探求と、マネジメントを学ぶための思考力・判断力を備えているかどうか、である。

第Ⅱ問（知識問題・古代から中世の東北）

古代から中世にかけての東北地方を説明する3つの文章を示し、文章中の空欄に最も適した語句を当てはめる設問、会話文中の下線部に関わる知識についての設問を通じて、次の2つの基礎的な能力を問うものとした。第1に、地理的条件と関連付けながら、各時代における歴史事象の意味を理解し、歴史事象相互の関連性に着目して多面的に考察する力を備えているかどうか、第2に、入学後の学修の基礎となる課題の探求と、課題を筋道立てての構想力を備えているかどうか、である。

第Ⅲ問（知識および思考・日本史における情報）

古代から近現代にかけて、日本史において情報に関わる事項を取り出して説明する3つのメモを示し、文章中の空欄に最も適した複数の語句を組合せて選択する設問、会話文中の下線部に関わる知識および思考についての設問を通じて、次の能力を問うものとした。第1に、各時代に類似する歴史事象を取り出して連想や比較を行いながら、概念的な構想や説明に辿り着く力を備えているかどうか、第2に、入学後の学修の基礎となるICT(情報通信技術)の土台となる情報に対する関心を備えているかどうか、第3に、マネジメントと行動力の関連性を認識しているかどうか、第4に、他者との協働的な姿勢を備えているかどうか、である。

第Ⅳ問（知識および思考・近現代史におけるエネルギー問題）

近現代の日本史のうちエネルギーに関わる事項を取り出して述べた文章を示し、文章中の空欄に最も適した語句を当てはめる設問、会話文中の下線部に関わる思考についての設問を通じて、次の2つの基礎的な能力を問うものとした。第1に、時代の推移に注目しながら歴史的な因果関係を把握し、様々な立場を踏まえながら歴史事象を把握する力を備えているかどうか、第2に、入学後の学修の基礎となる、地域社会とともにマネジメントを学ぶうえで必要とされる思考、地域的な課題を道筋立てて俯瞰的に判断したり構想したりする力を備えているかどうか、である。

○政治経済（100 点）「政治・経済」「公共」

経済全体の経済循環システムや市場経済システムに関連する設問をつうじ、所得格差、政府財政収支、価格メカニズム、独占問題などに関する現代社会の課題を理解する力、社会に対する問題解決力を確認する。また、国連を中心とした国際秩序に関する設問をつうじ、国際政治・国際社会の状況を理解する力を、わが国の国会制度等の国民主権に関する設問をつうじ、社会構造と制度的枠組みを理解する力、社会的課題の発見力を確認する。

○数学（100 点）「数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（統計的な推測）」

数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（統計的な推測）の内容から出題し、数と式・整数の性質、二次関数、図形と計量、確率、関数、微分法などを通して、マネジメントを学ぶ上で必要となる基礎的な計算力と論理的思考力、複数の条件を整理しながら問題を解決する力、論理的な推論力、平面図形における論理的考察力、数式と図形を関連付けて考察する力を確認する。また、確率（数学A）および正規分布・標本調査（数学B 統計的な推測）に関する問題を通して、データを統計的に分析し、数学的根拠に基づいて判断する力を確認する。

【一般選抜B日程】

○英語（100 点）「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」（リスニングを除く）

発音や文法、語彙などの基本的な知識を問うほか、長文問題から情報を読み取り、要点を掴む読解力を測る。また、国際化する社会状況を踏まえて、文化や政治、社会生活における多様な場面におけるコミュニケーションの意味を適切に理解し、表現する思考力を確認する。